

# 県西教育事務所だより

未来に向かって 高い志を持ち たくましく生きぬく 人づくり

「学校に元気を 先生方に自信と勇気とやる気を 子どもたちに夢と生きる力を」 平成30年5月11日発行（第2号）

## 管内学校教育指導方針等説明会の開催

平成30年4月12日(木) 筑西合同庁舎大会議室

新年度のスタートにあたり、特に以下の4点についてお願いしました。

- ① 学校が一つになっていて活気があり、教職員、子どもが共に力を発揮できる職場づくり  
・全ての教職員の協働による創造的な教育活動の充実及び思い切った校務の改善（チェンジ）
- ② 主体的・対話的で深い学びを支援する授業づくり  
・「考える子ども、認める教職員」へ認識を転換（チェンジ）
- ③ 不登校児童生徒ゼロを目標にした指導体制づくり、及び幼児教育と小学校教育の円滑な接続  
・子ども一人一人の「よさ」を育て、伸ばす生徒指導の充実
- ④ 不祥事の根絶と服務規律の確保  
・「100-1=0」の恐怖（一人の教職員の不祥事が、すべての教職員の信用を失墜させる。）



【所長あいさつ】



【説明会の様子】

また、当日は以下に示しました「本年度の学校教育指導の方針と学校経営」、「主な事業の紹介」等を中心に説明しました。

### 本年度の学校教育指導方針と学校経営「一人一人が輝く活力ある学校づくり」

- 校長のリーダーシップのもと、教職員の資質・能力の向上を土台として、「創意工夫を生かした特色ある教育活動の推進」、「一人一人の豊かな学びの実現に向けた教育活動の推進」、「学校段階間を円滑に接続する教育活動の推進」に取り組む。

#### 主な事業の紹介

- **【学力向上推進プロジェクト事業】〈継続〉**  
平成30年度授業力ブラッシュアップ研修授業発表会  
・管内重点校3校（小学校2校、中学校1校）の授業発表会に参加し研修することを通して、授業力の向上を図る。
- **【小学校プログラミング教育推進事業】〈新規〉**  
・児童のプログラミングへの興味・関心を高め、プログラミング的思考を育成するため、授業づくりや教材開発等に取り組む。  
・小学校教員（各校1名）を対象とした研修の実施
- **【次世代グローバルリーダー育成事業】〈新規〉**  
・グローバル社会で活躍できる人材を育成するため、学習意欲・能力の高い中高校生を対象にした事業  
・公募により約40名を選定
- **【小学校英語教育支援事業】〈新規〉**  
・小学校5・6年生の英語の教科化に向けた、学校や教職員への支援  
・小学校外国語教育新教材の効果的な活用や授業の進め方に関する研修の実施
- **【幼児期の子どもへの育ちと学び接続事業】（就学前教育・家庭教育推進室）〈拡充〉**  
・保幼小接続コーディネーター養成研修（各小学校1名）の実施

#### 重点校（H30発表会）

国語：八千代町立下結城小学校

6/22(金)・11/21(水)

算数：筑西市立中小学校

6/6(水)・10/25(木)

国語：坂東市立岩井中学校

7/12(木)・12/11(火)

#### 「小学校プログラミング教育推進事業」

##### 1 専門家による授業づくりサポート

・各教科等におけるプログラミング的思考の育成

##### 2 専門家による映像教材の制作・配信

・コンピュータを活用したプログラミングの体験

##### 3 プログラミング教育に関する研修

・プログラミング教育に関する基礎的認識の共有、授業の質的向上



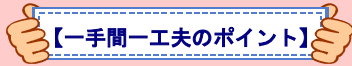
#### 【総務課より】

#### 給与支給内容の確認について

4月、5月は異動等に伴い、通勤手当、扶養手当、住居手当等の変更が多い時期です。4月に各種手当の届出を行った方は、4月または5月の給与明細に手当額が反映されているか、必ず確認してください。支給内容に疑問がある場合は、所属校の事務担当者へ問い合わせてください。

また、扶養手当等の認定状況に変更がある場合（22歳未満の子が就職した、配偶者がパートを始めた等）も、事務担当者へ速やかに連絡してください。

下妻市立高道祖小学校では、目指す児童の姿を「自ら学ぶ児童 心豊かな児童 たくましく生きる児童」とし、日々の教育活動に取り組んでいます。渡邊優子教諭は「互いのよさを認め合う、居心地のよい学級づくり」をモットーに、児童が安心して過ごせる居場所となる教室を目指しています。笑顔で子どもたちと接し、褒めることを心がけて、子どもたちが互いのよさを認め合い、主体的に取り組めるように日々実践しています。



【一手間一工夫のポイント】

～互いのよさを認め合う、居心地のよい学級づくり～

① 一人一人の考えを生かした行動目標の設定

- ア [先生の思い] 学級開きで、担任としてどんな学級を目指したいのか伝える。  
「**わ**らい声が**た**くさん、**な**かよく**ん**きょうもがんばる」等を全員で共有する。
- イ [児童の思い] どんな学級にしたいか、学級に足りないものは何か話し合い、学級目標を決める。
- ウ [学級として] 学級目標は、児童スローガン、今週の目標とともに教室の前面に掲示し、毎朝唱え確認する。
- エ [個人として] 学級目標達成のために何をすればよいかを話し合う。話し合いで出た意見の中から自分で具体的な行動を決める。各自「やること宣言」に書く。
- オ [継続・振り返り] やること宣言は教室の背面に掲示し、いつでも見られるようにする。学期ごとに達成できたかどうかを見直し、新たな目標を立てる。

◀ ①の実践例 ▶  
「学級目標の設定のための話し合い」



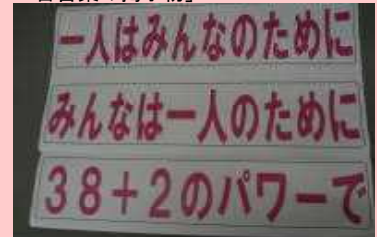
◀ ②の実践例 ▶  
「道徳で友情、信頼についての授業」



② 温かな人間関係づくり

- ア 少数意見を大切に、折り合いをつけられる話し合い活動を行う。
- イ 本学級に必要な価値を取り上げた道徳の授業を充実させる。(4月は「友情」「信頼」を実施)
- ウ 帰りの会での「今日のキラリ」を活用する。(一日を振り返り、友達にやってもらったことや楽しかったこと、反省などを発表する。教師からもよいことを行っていた児童を紹介する。)
- エ 授業では、ホワイトボードを使い、考えを可視化した交流活動を充実させたり、振り返りの発表を行ったりする。(友達の考えのよさを認める。)

◀ ③の実践例 ▶  
「合言葉の掲示物」



③ 一人一人のよさを生かす学級開き

- ア 学級開きのときに、担任の思いを伝え、学級の合言葉を提示する。
- イ 「好きな〇〇」を入れたオリジナルの自己紹介を行う。(グッドモデルの提示)
- ウ 生活や当番活動などのルールを確認し、徹底する。(役割の明確化)
- エ 5年生でがんばりたいことの100文字作文を書いたり、スピーチをしたりする。(意欲の喚起)

【渡邊教諭から】

学級開きでは、自己紹介で友達や先生の意外な面の発見ができるよう心がけています。一人一人のよさを伸ばし、集団としても伸びていける学級づくりのために、どのような手だてが必要か日々考えています。また、子どもたちに笑顔で接し、褒めることを心がけています。意見が自由に言える、安心して過ごせる学級ができてくることで、子どもたちも主体的に活動したり、学習したりできるようになります。

【人事課より】

【信用失墜行為の根絶（不祥事の『ゼロ』をめざして）】

- ◀ H29年度 学校事故 (H28年度)
- ・交通事故 加害12件 (10件) ・スピード超過 0件 (5件)
- ・個人情報紛失 1件 (2件) ・わいせつ等 2件 (1件)
- ・その他 1件 詐欺 譲渡目的の口座開設
- ※管理職が職員一人一人を理解し、適時に指導
- ※一人一人が当事者意識をもつ (危機意識の高い組織体制の構築、報連相確の徹底)

【組織力の強化】

- 働き方改革の組織マネジメント
- ・ねらい「すべての教職員が自己の専門性を生かして活躍できる組織づくり」  
→「校務改善」が必要
- ※これまでの「常識」を見直す (チェンジ) 「やめる」「減らす」「変える」